



EVバス・キャッシュレスの未来へ

2023年6月

(株)伊予鉄グループ社長（日本バス協会会長）

清水 一郎

伊予鉄グループ



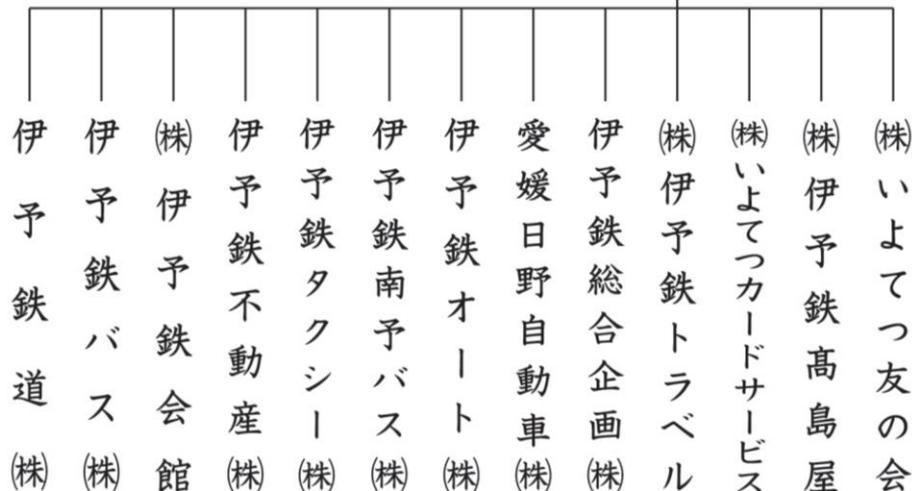
清水 一郎 (しみず いちろう)
1967年11月生まれ。東京大学法学部卒、英ケンブリッジ大学大学院修了。1990年運輸省(現国土交通省)入省後、在英日本大使館参事官、観光庁観光戦略課長などを経て退官。2014年伊予鉄道(現伊予鉄グループ)副社長。2015年代表取締役社長(第16代)。2021年日本バス協会会長。愛媛県松山市出身。55歳。

<持株会社>

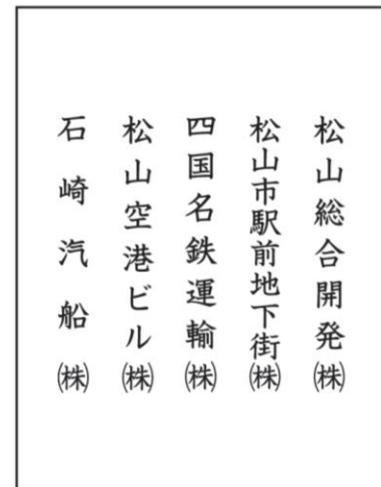
IYOTETSU

(株)伊予鉄グループ

<事業会社>



<グループ関連会社>



伊予鉄道は、民営鉄道としては日本で2番目の会社で、135年の歴史があります。

初代社長の小林信近は、松山～三津間における交通機関改善の必要性を感じ、軽便鉄道として日本初の敷設認可を鉄道局へ申請しました。

「交通」・「観光」・「まちづくり」

IYOTETSU

地域とともに歩む、伊予鉄グループ

交通

松山市駅
Matsuyama City Station

松山空港ビル

四国名鉄運輸

石崎汽船

伊予鉄オート

愛媛日野自動車

観光

まちづくり

伊予鉄トラベル
伊予鉄順拝センター

いよてつ会館

伊予鉄高島屋

伊予鉄順拝センター

いよてつGOLF

みきゃんパーク
梅津寺

まつちかタウン

デジタル事業

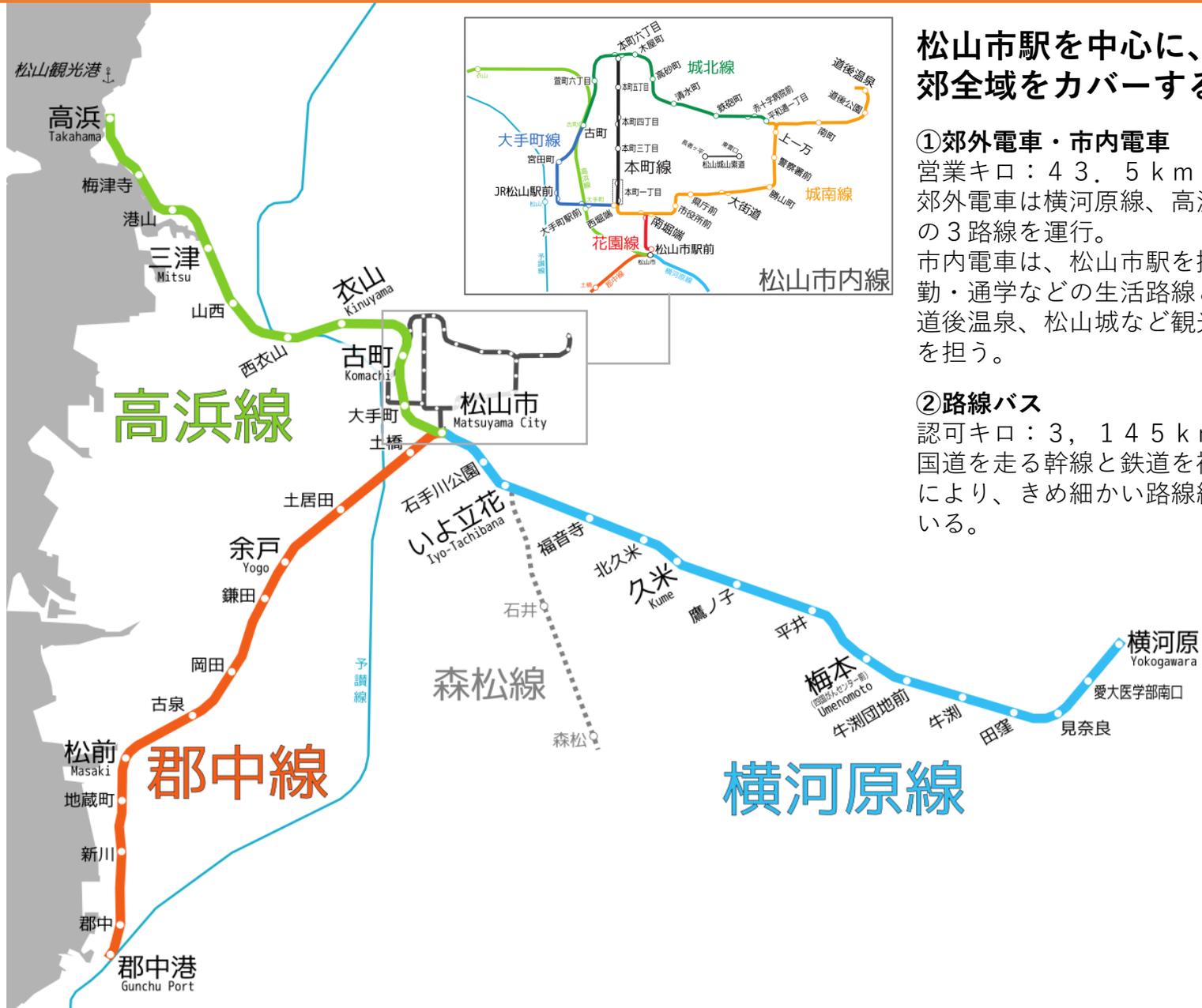
クレジットカード事業
・損害保険代理店業

いよてつ保育園

広告事業

みきゃんアプリ
県民アプリ
「みきゃんアプリ」

伊予鉄の電車・バス路線



松山市駅を中心に、松山市近郊全域をカバーする路線網

① 郊外電車・市内電車

営業キロ：43.5 km

郊外電車は横河原線、高浜線、郡中線の3路線を運行。

市内電車は、松山市駅を拠点に、通勤・通学などの生活路線として、また、道後温泉、松山城など観光面での役割を担う。

② 路線バス

認可キロ：3,145 km

国道を走る幹線と鉄道を補完する支線により、きめ細かい路線網を形成している。

乗ってみたいくなるような電車・バス①

愛媛の柑橘をイメージしたオレンジ色の電車・バス車両



乗ってみたいくなるような電車・バス②

坊っちゃん列車



1888年から67年間運行した蒸気機関車をディーゼル車両で復元し、2001年10月から松山市内を走っています。

夏目漱石の小説「坊っちゃん」で、「マッチ箱のような汽車」と紹介され、この愛称で親しまれています。

新型LRT車両（低床式）5000形

2017年から導入し、現在12両が運行しています。

- ・低床バリアフリー型
- ・オレンジ色で愛媛らしさを表現
- ・フリーWi-Fi、行先表示の英語表記、英語車内アナウンスで外国人観光客に対応
- ・車内にデジタルサイネージを設置



乗ってみたいくなるような電車・バス③

サイクリングアイランド四国号

自転車19台を分解せず
積載可能。乗車可能人員は
25人。

愛媛県は自転車振興による
観光施策を進めており、
しまなみ海道を「自転車の
聖地」と位置付けて、世界
に発信しています。



松山市駅前再開発

松山市駅前広場改変構想

- ・ 郊外電車と路面電車のシームレス化
- ・ にぎわい空間として交流広場を設置
- ・ バスターミナルを整備

※2026年完成予定



EVバスの導入①

(株)EVモーターズ・ジャパン製
大型路線バスにおいては、国内企業が開発・
製造を行うEVバスとして、全国初の導入



2023年1月EVバス出発式（愛媛県松山市）



EVバスの導入②



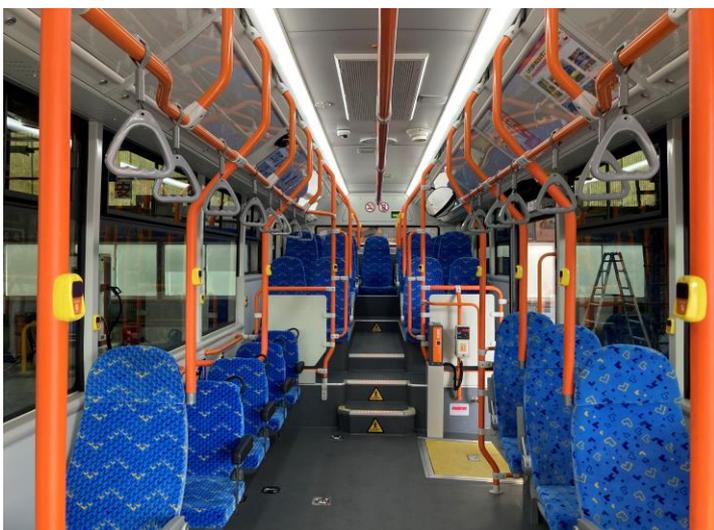
- ・優れた静音性で電車のような乗り心地
- ・ボディは強化炭素繊維で頑丈
- ・軽量化による高い省エネ性能



- ・タッチパネルにまとめられたスイッチ類



- ・座席のUSB端子



- ・座席数 24席
- ・乗車定員77人（運転士除く）



- ・デジタルサイネージ



- ・夜間もクリアで死角をなくした電子ミラー

EVバスの導入③



CO2削減

導入路線での試算で、一台当たり年間23トンのCO₂を削減を見込む。

災害時にも有効

1日あたり21軒分の電力供給が可能。

日本バス協会

2030年までにEVバスを1万台導入することを目標とする。



高性能バッテリーを搭載（車両後部）
消費電力が低く、長寿命



EV モーターズ・ジャパンの国内工場

北九州市に、国内初となる商用電気自動車専用の量産組み立て工場の建設を本年4月にスタート。本年秋に組み立て工場・検査棟の完成を目指す。

デジタル化でキャッシュレス推進



みきゃんアプリ

許諾番号：410053

公共交通のキャッシュレス推進のため、
本年2月「みきゃんアプリ」をスタート！

- ※ ICい〜カード 2005年導入 56万枚
- ※ みきゃんアプリ 導入から3カ月 3万ダウンロード



愛媛県イメージアップキャラクター みきゃん
許諾番号:410053



お得な特典例

- ・ 市内電車⇒10円引
- ・ 伊予鉄リムジンバス（松山空港・松山観光港）⇒50円引
- ・ 伊予鉄タクシーなど⇒運賃5%還元（上限100円）
- ・ 電車・バス1～4日券⇒100円引
- ・ 坊っちゃん列車⇒100円引
- ・ 石崎汽船乗船券⇒100円還元（一決済につき）
- ・ 松山・小倉フェリー⇒400円分チケット進呈
- ・ いよてつ高島屋大観覧車くるりん⇒無料
- ・ 梅津寺公園⇒無料
- ・ いよてつショップ秋葉原⇒全品10%引

飲食やショッピングでも利用可能

- ・ 県内のお店や施設でQR決済が可能です。

県民アプリ

「みきゃんアプリ」、もう、お持ちですか？



キャッシュレス社会の実現に向けて

〈課題〉

- ・運賃箱・券売機などへの投資やメンテナンス
- ・運転士や従業員にとって現金を扱うことの負担
- ・小銭を銀行で両替するだけで手数料がかかる
- ・新紙幣が出るたびに大きな設備投資

➡ 事業者に大きな負担

- ・2025年万博の会場は、キャッシュレス決済が本格導入されるとの発表があり、前年には新紙幣も発行される予定。
- ・公共交通のキャッシュレス化を一気に進めるチャンスであり、国を挙げて、目標年次を決めて進めるべき。